

# 社会教育委員 だより



▲ 第1回社会教育委員会議を4月20日に伊那市役所 会議室にて行いました。

平成28年4月20日 第1回会議（於伊那市役所）を開催しました。

委嘱式で社会教育委員に任命された10名です。

馬場 武志 会長	(伊那地区)	中村 幸子 副会長	(富県地区)
黒河内 あけみ 委員	(美篁地区)	上島 房江 委員	(手良地区)
高見 さゆり 委員	(東春近地区)	小林 恵子 委員	(西箕輪地区)
池上 和子 委員	(西春近地区)	寺田 利男 委員	(高遠町地区)
山崎 恭子 委員	(高遠町地区)	小松 壽美 委員	(長谷地区)

(任期：平成28年4月～平成30年3月まで)



伊那市生涯学習基本理念

—— 共に学び、今に生かし、更に深め、未来へとつなぐ ——

平成26年4月に委嘱された社会教育委員の皆さんのうち、6名の皆さんがこの3月に退任されました。任期中は地域のイベントへ積極的に参加いただくなど、活発に活動していただきました。ありがとうございました。

社会教育委員の任期中を振り返って、各委員から一言をいただきましたので、紹介します。

.....

**退任の委員さんから  
ひとこと**

**【唐木 孝雄 会長（西春近地区）】**

今年のテーマの一つは公民館活動でした。市では市民大学を始め様々な学習の機会を用意して参加を呼びかけていますが、公民館も地区ごとに講座を設けています。私の地元では分館主催の史跡巡りが開催され、子供からお年寄りまで50人近い方々の参加がありました。参加者には「地域の歴史がわかり、参加して良かった」、「近くにこんな遺跡があることを初めて知った」などと好評でした。こうした地域密着の行事が、役員の方々の工夫を凝らした企画と運営によって開催され、住民同士の交流につながっていることを実感しました。今後も地元の行事に参加し、地域の方々とともに学んでいきたいと思ひます。

**【鈴木 岬 副会長（高遠町地区）】**

桜が満開の高遠城址公園の藤原神社前で、伊那市と韮崎市との交流の様子をテレビニュースで見ながら、去年は自分もあの場所に居たなと思ひました。実は、社会教育委員を任命される前迄は、武田氏につながる高遠と韮崎の関係も知りませんでした。三期6年間委員をやらせて頂いて、地元のこと伊那市全体のこと等沢山学びました。社会的に役に立つことは出来ませんでした。市民として私個人は成長させて頂きました。有難うございました。

**【平澤 眞 委員（美篤地区）】**

この2年間、社会教育委員として又兼職の公民館運営審議委員として、年間30回を超えて幅広く社会教育の現場に参加してきた。それらの中で市民の学習意欲の旺盛さと幅広さに驚くばかりであったが、社会教育について改善すべきことなど市民目線から評価し、意見を述べてきたつもりである。最終の会で、基本構想の見直し案を手にした。市民の要望の変化や多様性に対応し、さらに改善をすすめ、充実していくことに期待したい。

**【井上 祐一 委員（東春近地区）】**

手探りの2年間でしたが、おぼろげながらに見えてきたことは、超高齢者社会を迎え、生涯にわたって学び続けようとする姿勢を育むお手伝いであり、具体的には伊那市の社会教育事業のモニターの役割を果たすことであったと思ひます。

その責務を果たせたかという点、お恥ずかしい限りですが、このような機会を与えられたことに感謝しています。ありがとうございました。

**【北原 公雄 委員（高遠町地区）】**

ふり返って見れば、市町村合併前から通算して七期14年間、関係の皆様方にお世話様になりながら社会教育委員の任に当たってまいりました。

就任期間が比較的長かったなかで、社会教育委員として、具体的な役割を十分果し得たかどうか反省するところが多々あるように思っております。

就任中特に印象的な活動分野として、市の生涯学習基本構想への提言・進行計画・実績に対する検証・評価のほか、地域の公民館運営なり活動に対する参画・支援の業務に、及ばずながらも携わって来たことが思い出深く、また社会教育委員としての具体的な領域を担うことができたかなと思っております。

【北原 昭三郎 委員（長谷地区）】

2年前、社会教育委員として何も解からず任命されたまま、時を過ごしてきたのが私の実情でした。任期中、研修会や郷土の様々な行事に参加する中で、伊那市の歴史文化の奥深さ、先人の心意気と思慮深さや知恵等、多くの知らなかった事象を学ばせていただきました。

委員としての地域、学校、共同活動の推進についての助言や協力などは、浅学の私には使命を十分に果すことが出来ませんでした。ITや人工知能を持つロボットの時代を迎え、これからの学校、社会教育が益々重要な位置を占めてくるのではと思ひ至っています。

この二年間の社会教育委員としての経験を活かし、このたび培った人と人とのつながりを大切に進んで行きたいと思ひます。

委員の皆様、そして細部にわたってお世話して下さいました事務局の皆様有難うございました。

.....



.....

平成28年4月から、社会教育委員を務めていただく会長、副会長、新任の委員1名から一言いただきましたので、紹介します。

2年間の任期、よろしくお祈りします。

.....

**新年度 社会教育委員からの  
ごあいさつ**

【馬場 武志 会長（伊那地区）】

諏訪大社御柱祭の年。「力を合わせてお祈りだ」と、同じ法被で祭りに参加して網を曳けば、人との絆が深まる。伊那市には、関連神社があり、人

が集まる行事や祭りも多い。

地域のつながりが、震災や災害等に遭遇した時、復興の力になっていくと思われる。

伊那市の生涯学習主要事業の中でも、公民館活動や学校、地域に足を運んで、見て聞いて学び、委員の皆さんと話題を共有しながら、課題解決の手助けをしていきたい。

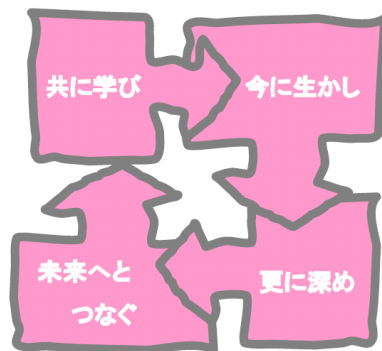
【中村 幸子 副会長（富県地区）】

社会教育委員を一期経験させていただき、二期目は「実践する社会教育委員」となれるよう、率先して各種学習活動やイベントへ参加することにより、市民との交流を深めると共に、生涯学習の様子を学ばせて頂く中で、「意義」や「問題点」を拾い上げ、今後の生涯学習推進に生かせる有意義な提案ができるよう努めて参りたいと考えています。ご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【黒河内 あけみ 委員（美篤地区）】

この4月より社会教育委員になりました。社会教育委員の取り組みの6つの柱（現場へ「足」を運ぶ。日頃から「手」に汗を握る。市民から「顔」が見える。些細な事でも聴く「耳」をもつ。深く掘り下げて視る「目」を持つ。腹に納めず「口」に出す。）を中心に、地域との関わりを大切に、多くのイベントに参加して、自ら学んでいこうと思ひます。よろしくお祈りします。





伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電話：0265-78-4111（内線 2723） F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらへ

